

連載 **むっちゃんの
教えて文化財!**

■問い合わせ先 文化財課
 (☎ 82-1642)

第6回
前川國男の最初の作品
木村産業研究所

最近新たに指定された文化財や、話題になっている文化財の魅力を毎月お伝えします!

案内人・むっちゃん
 文化財行政に携わって12年!学芸員資格を持つスペシャリスト(?)職員。新日本プロレス・蝶野正洋選手の大ファン!

木村産業研究所は日本を代表する建築家前川國男が初めて手掛けた作品。1932(昭和7)年に建てられました。



前川國男の建築では初めての重要文化財です



日本に現存するモダニズム建築では最古級!



水平に配置された窓や鉄筋コンクリートの使用により可能になったピロティなどモダニズム建築の特徴がみられます。

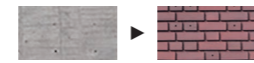
弘前には前川國男の作品が8棟残っています。

- 木村産業研究所
- 弘前中央高校講堂
- 市役所庁舎
- 市民会館
- 旧市立病院
- 市立博物館
- 緑の相談所
- 斎場

works of Kunio Maekawa in Hiroasaki

各作品の特徴から前川の建築に対する考え方の変遷を知ることができます

コンクリート打ちっぴなしから打ち込みタイルに変わったり。



建築を学ぶ学生が全国から訪ねてくることもありますよ



お城・寺社、洋館に前川建築。弘前はいろいろな時代の建築物を見ることができる建物のまちでもあるんですね。

次回「奇跡の土偶!? 砂沢遺跡探集の土偶」

暮らしの
Information

広報ひろさきに掲載した各種催しについて

広報ひろさきに掲載した各種催しや教室などは、新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止の観点から、中止や内容変更となる場合がありますので、ご了承ください。詳しくは市ホームページまたは各問い合わせ先で確認を。催しなどに参加する際は、マスクを着用するなど、感染症対策へのご協力をお願いします。

イベント

第26回津軽塗フェア

▼とき 11月3日(木)祝～6日(日)の午前9時30分～午後5時30分
 ▼ところ 市立観光館(下白銀町)多目的ホール
 ▼内容 伝統的な津軽塗四技法で作られた商品の展示と販売、津軽塗の修理等相談窓口、当日限定の30%割引券の配布など
 ▼入場料 無料
 青森県漆器協同組合連合会事務局 (☎ 35-3629)

弘前図書館の催し

【おたのしみおはなし会】
 「お仕事・家族」がテーマの

絵本の読み聞かせや、紙芝居、昔話、などなどを行います。

▼とき 11月5日(土)・19日(土)、午前11時～11時30分 / 12日(土)・26日(土)、午後2時～2時30分

▼ところ 1階閲覧室おはなしコーナー

▼対象 おおむね4歳～小学校低学年=各回10人(先着順) ※事前の申し込みは不要。

▼参加料 無料

【小学生に贈るおはなし】

おはなしボランティアの皆さんによる絵本の読み聞かせ、昔話や紙芝居、ストーリーテリング等を行います。

▼とき 11月23日(水)祝、午後1時30分～2時35分

▼ところ 2階視聴覚室

▼対象 小学生=25人(先着順)

▼参加料 無料

▼申し込み方法 11月1日(火)の午前9時30分から、カウンターまたは電話で申し込みを。

弘前図書館(下白銀町、☎ 32-3794)



まちなかクラフト村づくり 特別企画展

【函館からの海峡の風「蔵の街川越と函館」】

埼玉県川越市のギャラリー「はるり銀花」と「はこだて工芸舎」の共同企画展です。

▼とき 11月8日(火)～14日(月)の午前10時～午後4時

▼ところ 藤田記念庭園匠館(上白銀町)2階ギャラリースペース

▼入場料 無料

園産業育成課 (☎ 32-8106)

ロマンチック天文台
 【星と森のロマンチック天文台】

★皆既月食観望会

8日(火)、午後6時～9時

★フォーマルハウト観望会

19日(土)、午後7時～9時

▼入館料 無料(市民以外は有料)

▼通常開館時間 午後1時～9時30分

星と森のロマンチック天文台(水木在家字桜井、☎ 84-2233)

11月の催し

Hirosaki Art Times

ヒロサキ・アート・タイムズ #20

弘前れんが倉庫美術館に関連する情報を連載します。

■問い合わせ先 弘前れんが倉庫美術館(吉野町、☎ 32-8950、https://www.hirosaki-moca.jp/)

かつてりんご園だった場所

—— りんごと美術館の関係

実りの秋、りんごの季節ですね。弘前れんが倉庫美術館とりんごには、深いつながりがあることを知っていますか。

今から140年ほど前の1880(明治13)年。現在美術館が建つ土地に、りんご産業の発展に尽力した楠美冬次郎が「不換園」という名のりんご園を開きました。園の一角には屋敷があり、広い庭園や池もあったそうです。その後、同地で弘前初の火力発電所が創業されましたが、別の場所へ移転。土地を譲り受けた実業家の福島藤助がレンガ造の醸造所を建てました。

戦後になり、建物は吉井勇の手に渡り、りんごを使った酒「シードル」が作られました。シードルの製造は、りんごを搾ってジュースにすることから始まります。外壁に設置された繰り上げ機を

使ってりんごを2階に送り、現在はライブラリーとなっている場所で、搾汁が行われていたそうです。きっとシードル工場時代は、建物がりんごの甘い香りに包まれていたことでしょう。

美術館で来年3月21日まで開催している展覧会「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか?」の最初の展示室では、父の吉井勇から煉瓦倉庫を引き継いだ吉井千代子のことについても紹介しています。実際に作られていた朝日シードルの瓶(よく見ると中身が入っています!)をはじめ、当時の広告やパンフレット、出荷用の箱も展示しているので、ぜひ注目してみてください。



▲展示されているシードル工場時代の資料

2022 ひろさき りんご収穫祭

11月5日(土)・6日(日) 午前10時～午後3時

▼ところ りんご公園(清水富田字寺沢)

園りんご課 (☎ 40-2354)



※来園の際は新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いします。